

週間国際経済 2021 (27) No.277 08/08~08/20

- 08/08・中国輸入、7月28%増 内需関連は伸び鈍く 景気回復に変調も
- 08/10・気温1.5度上昇10年早く IPCC報告「21~40年に」 パリ協定達成難しく
・中国、価格転嫁に遅れ 7月の卸売物価9%上昇 企業収益の圧迫懸念
・経常黒字5割増10.4兆円 1~6月、輸出回復が寄与 <1>
- 08/11・米インフラ法案、上院可決 超党派 道路や電力網、110兆円投資 <2>
クリーン電力8割目標 30年までに比率2倍 財政支出案で柱に
- 08/12・中国政府調達、国産を優先 医療機器など315品目 対中輸出影響大きく
・米消費者物価5.4%上昇 7月も高水準 続く供給制約、賃金も伸び <3>
・米入院患者1ヶ月で4倍 コロナ テキサス州など医療逼迫
- 08/13・英、4~6月4.8%成長 主要国で突出 個人消費が急回復 <4>
- 08/14・米の白人人口、昨年初の減少 人種多様化、分断加速も <5>
・中国、教育分野の統制強化 「習近平思想」小中高必修に 米との対立長期化にらむ
- 08/16・アフガン政権崩壊 タリバンが首都掌握 大統領は国外脱出
米介入20年「力の支配」限界 成長の果実乏しく、民主主義の退潮加速
・GDP年率1.3%増 4~6月 2期ぶりプラス 設備投資持ち直し <6>
コロナ前なお遠く 個人消費0.8%増、回復弱く
- 08/17・日経平均一時500円安 経済回復遅れ懸念増す 冷え込む内需、海外と差
・米、アフガン撤収堅持 バイデン氏「外交で人権確保」 戦況見通し甘さ認める
- 08/18・米、小売売上高1.1%減 7月、予想大幅に下回る 個人消費の勢い鈍化
- 08/19・米緩和縮小「年内が適切」 FOMC議事要旨 来月決定の可能性も
雇用回復、最低条件に デルタ型拡大には懸念 NY株382ドル安 緩和縮小を警戒
- 08/20・「緩和相場の終焉」警戒強く 株安世界の市場で連鎖
・フェイスブックを再提訴 米独禁当局 アプリ買収「競争阻害」
・NY原油3ヶ月ぶり安値 コロナ再拡大 需要先行きに懸念

<1>

2021年上半期と6月の国際収支
(単位億円、カッコ内は前年比%、▲は赤字または減少)

	2021年 上半期	6月
▽経常収支	104,675	9,051
貿易・サービス収支	2,234	3,022
貿易収支	23,143	6,485
輸出	392,231	71,374
	(22.2)	(47.7)
輸入	369,089	64,889
	(11.6)	(33.8)
サービス収支	▲20,909	▲3,464
旅行収支	1,055	173
知的財産権等使用料	10,941	997
第1次所得収支	114,406	6,805
第2次所得収支	▲11,965	▲776
▽資本移転等収支	▲1,313	▲367
▽金融収支	69,204	▲6,370
▽誤差脱漏	▲34,158	▲15,053

<2>

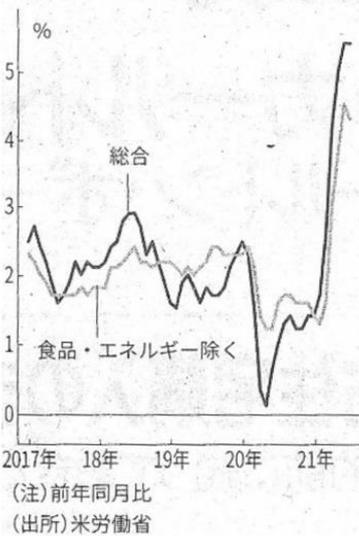
超党派インフラ投資法案の
主な内容

道路や橋	1100億ドル
電力網	730億ドル
アムトラック など鉄道	660億ドル
高速通信網	650億ドル
水道網	550億ドル

(注)超党派法案(原案)概要

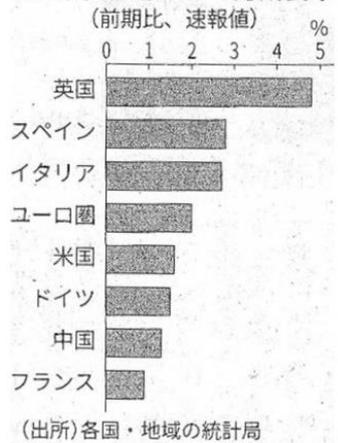
<3>

米CPI上昇率は高水準が続く



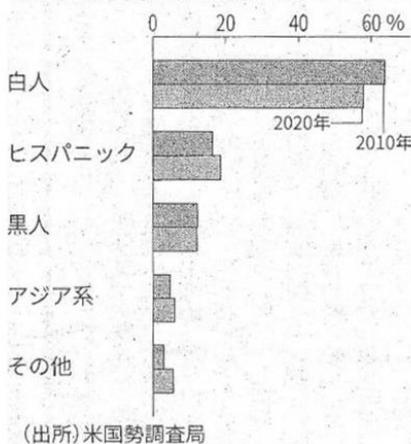
<4>

主な国・地域の4~6月成長率



<5>

米国で非白人の割合が増えている



<6>

4~6月期のGDP増減率の内訳

(カッコ内は21年1~3月期、前期比%、民間在庫はGDP伸び率にどれだけ影響したかを示す寄与度、▲はマイナス)

	実質	名目
GDP (年率換算)	0.3(▲0.9)	0.1(▲1.0)
個人消費	0.8(▲1.0)	0.6(▲0.7)
住宅投資	2.1(0.9)	3.9(2.0)
設備投資	1.7(▲1.3)	2.3(▲0.2)
民間在庫	▲0.2(0.4)	▲0.2(0.4)
政府消費	0.5(▲1.7)	0.9(▲1.0)
公共投資	▲1.5(▲1.0)	▲0.5(▲0.2)
輸出	2.9(2.4)	6.4(4.5)
輸入	5.1(4.0)	10.8(10.4)